

熱分析システム（TG-DTA および DSC）

1. 概要

熱分析は温度変化に伴う物質の物理的・化学的性質の変化を測定する手法である。本システムでは、示差熱天秤（TG-DTA）による試料の重量変化と熱的变化の同時測定および差走査熱量計（DSC）による試料の熱量変化の定量測定が可能である。これらの手法により、測定試料における相転移、結晶化、融解、分解、酸化、還元などの熱的挙動を評価できる。



2. 特性

TG-DTA：

装置名：リガク Thermo plus EVO2 TG8121

測定温度範囲：室温～1300℃（Max 1500℃）

標準的な試料量：数 mg～数十 mg

最大昇温速度：100℃/min

雰囲気ガス：空気、窒素、アルゴン

DSC：

装置名：リガク Thermo plus DSC8230

測定温度範囲：室温～750℃

標準的な試料量：数 mg～数十 mg

最大昇温速度：100℃/min

雰囲気ガス：空気、窒素、アルゴン

試料セル：

温度および試料条件に応じてアルミニウム、アルミナ、白金から選択する。

3. 設置場所

トレーサ棟 機器分析室2（管理区域内）

4. 提出書類

管理区域立入願

5. 装置担当者、連絡先

有馬 寛（内線：2678） arima.hirosi.3r@kyoto-u.ac.jp